

### 久保田町議

①点目について削除する。②点目については、申請があれば随時対応している。③点目について予算が厳しいと言うが、24年度の準要保護、要保護の児童生徒数で試算してみたのか。



### 教育長

小学校のクラブ活動が0、中学校のクラブ活動が4分の1入ったとシミュレーションして2百万程度が必要である。

### 久保田町議

要保護の場合は国からの補助が2分の1降りるから、全部の生徒がクラブ活動に入ったとしても420万程度で済む。クラブ活動にお金がかかる

のは分かる。子供たちが勉強で力を発揮できなくても、塾に行けるチャンスに恵まれなくてもクラブ活動で自信をつければ先に向かう希望になる。川棚町は、国の基準に達していない。検討する考えはないか。

### 教育長

準要保護が増える可能性がある。財政的に厳しいと考える。

### 久保田町議

アベノミクスでこれから厳しい状況になっていくと思う。川棚町も6人に1人、7人に1人が準要保護の子どもになる。厚生労働省は250万円以下の子どもたちは貧困の状況にある児童生徒だと言うことを認めた。考えて言ってもらいたい。

④点目、上限10%削減されたら、今まで基準に満たしていた人たちからはみ出してしまい、準要保護の基準に入らない状況になる。1・4倍にする考えはないか。

### 教育長

基準を上げることによって救われる子どもも確かに出てくると思う。ただし、川棚町の財政を考えずに基準だけを引き上げることはできない。と考える。

### 久保田町議

準要保護の財源が一般財源化された。厳しいのであれば、元の補助金に戻すように国に要望する考えはないか。

### 教育長

他町の動向も踏まえながら考えていきたい。町教育長会等の組織としての行動の方がより説得力があるのではないかと考えている。

動の方がより説得力があるのではないかと考えている

### 久保田町議

⑤点目については、削除ですか、検討ですか。

### 教育長

趣旨を逸脱しない範囲で表現を検討したいと言うことである。

### 久保田町議

教育のチャンスはどの時点からでも再スタートできる。削除する方向で取り組んでもらいたい。

⑥点目、奨学金の返済ができない子どもたちが生まれてきている。国の奨学金も滞納は10年で3倍、33万人の4千7百億円になっている。就職が正規の職員とは限らない。非正規、派遣、パート等2百万以下の収入は多い。就職活動自殺者も07年からすると2・6倍の158人になっている。家庭も経済的に厳しい。ぜひ考えてほしい。

### 教育長

奨学金の返済に困っている方もおられるだろう。しかし、借りたものは返す責任がある

と言う教育も必要であると認識している。

### 体育センターの耐震化を

第2に、勤労者体育センターは、玄海原発事故の際の松浦市民8千人のスクリーニングを行う施設である。災害時には、町民の避難場所に指定されている。非構造部材の耐震化と、照明のLED化にする考えはないか。

また公民館は地域のコミュニティの中心の役割を果たすとともに災害時の避難場所にも指定している。地域の財産である公民館の長寿命化と白アリ防除の補助の考えはないか。



勤労者体育センター

### 教育長

非構造部材の耐震化を認識したところであり、今後、耐震化を進めていく必要があると認識した。尚、照明のLED化への交換は適切でない。現時点でシロアリ駆除を補助する考えはない。

### 石木ダム建設促進決議に反対

定例議会2日目の6月20日「石木ダム建設に関する決議」案が提出され採決の結果、賛成10、反対3、退席2で可決されました。

採決の前に3名の反対討論と賛成討論が行われました。久保田町議の反対討論は次のとおりです。

反対地権者13戸の方々の、故郷に住み続けたい、先祖から受け継いだ土地で生活を営みこの土地を子どもたちに残したいと言う気落ちが揺らぐことはい。

町長は3月定例会で「財産権は憲法29条で侵してはならないと定められており、憲法で定められていることは尊重しなければならぬ」と答弁されたにも係わらず議会が推進することには納得できない。

私たちは今、次の世代に何を残せるか、何を残すべきか問われている。

半世紀近く経過しても推進しない事業は考えを改め、かじを切るべき。

このことを心から訴えて反対する。